

病院探検

放射線技術課

診療放射線技師は、病院・診療所などの医療機関において放射線を用いた検査・治療を業務とする、国家資格を有する医療職です。それでは、主な業務内容を説明します。



▲CT(コンピュータ断層)撮影



▲MRI(磁気共鳴画像)撮影



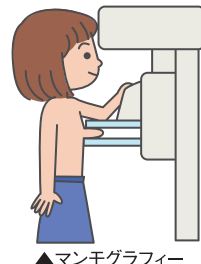
▲検診車内胸部X線装置

病院業務

- X線撮影：胸腹部・全身骨・組織の撮影(俗称：レントゲン撮影)
- CT撮影：コンピュータ解析による人体の輪切り画像の撮影
- MRI撮影：磁気と電波を用いた人体の任意断面の撮影
- 血管撮影：心臓・脳・消化器・四肢等の血管の撮影
- 核医学検査：放射性医薬品を用いた人体の生理機能の画像検査
- 放射線治療：放射線照射による疾患の治療

健康管理センター業務

- 胸部X線撮影
- 胃部X線撮影
- マンモグラフィー：乳癌の早期発見のため乳房をX線撮影します。
- CTによる体脂肪面積計測：ヘソ周りを1スライス撮影して内臓脂肪と皮下脂肪を計測します。
- 検診車による出張健診：各事業所へ出向き肺がん検診、胃がん検診を行います。



▲マンモグラフィー



▲医療スタッフが出張することも可能です。

やさしい 疾患手帳

心臓弁膜症

循環器内科 松成 政良



Profile プロフィール

- 所属／循環器内科 ● 専門分野／循環器一般
- 認定医・専門医／日本内科学会認定医
- 趣味／音楽鑑賞、ダンス、**筋カトレーニング**
- 好きな食べ物／お好み焼き
- 患者さんへのメッセージ／患者さんへのわかりやすい説明をモットーにしています。

心臓は、血液を送り出すポンプの役割を担っていますが、血液の送り出しがスムーズかつ逆流がないよう、心臓内には弁という扉が4つ(大動脈弁、僧帽弁、三尖弁、肺動脈弁)存在します。心臓弁膜症とは、弁の開きが悪くなる狭窄症と、弁の閉じ合わせが悪くなり逆流する閉鎖不全症の総称です。そこで、ここでは近年増加している①大動脈弁狭窄症と②僧帽弁閉鎖不全症について解説します。

① 大動脈弁狭窄症:大動脈弁の開きが悪くなるためにおこる病気です。原因は、以前はリウマチ熱が多かったのですが、現在は動脈硬化による高齢の方が増えています。症状は、心不全症状(動いたときの息切れ、呼吸困難、浮腫)、胸痛、失神があります。

② 僧帽弁閉鎖不全症:僧帽弁のとじ合わせが悪くなるためにおこる病気です。原因は、以前はリウマチ熱が多かったのですが、現在は僧帽弁逸脱(弁の落ち込み)によるものが増えています。症状は、進行すると心不全症状を呈します。

心不全症状は薬物治療で改善しますが、心臓弁膜症の根本治療としては手術しかないと言われておりますので、早期の発見、診断が重要です。心雑音を指摘されたら、心臓超音波検査を受けましょう。手術の適応があるかどうかは、主に心臓超音波検査で決まります。

当院では1月下旬より3D表示も可能な最新機器を導入します。ぜひ検査を受けてみてください。



新任医師 紹介

うすい がく
氏名/白井 岳



- 所属／整形外科
- 専門分野／整形外科一般
- 趣味／酒肴全般

患者さん一人一人の訴えに耳を傾け、適切な医療を提供します。

患者満足度調査の結果報告

患者サービス推進委員会

昨年11月、当院に対する患者さんの率直な意見をお伺いし、医療の質の向上を目指すため、入院および外来患者さんを対象にアンケート調査を実施しました。多数の方にご協力をいただき、誠にありがとうございました。以下、集計結果の一部をご報告します。

- 1.調査概要 ● 実施日／【入院】2013年11月7日(木)～15日(金) 【外来】11月11日(月)～15日(金)
● 配布方法／職員から手渡し ● 回答数／【入院】119名(回答率71.3%) 【外来】543名(回答率90.5%)

2.調査結果

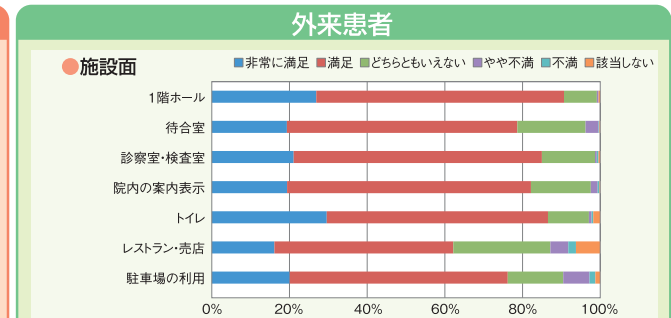
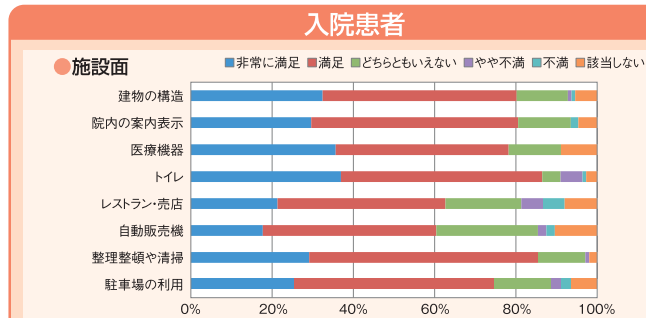
Q. 総合的に当院を100点満点で評価すると、何点ですか?

入院患者 **89点** (前回88点)

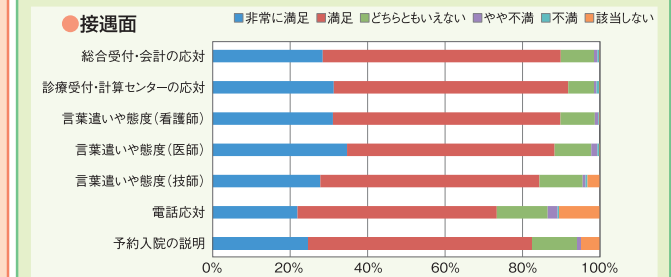
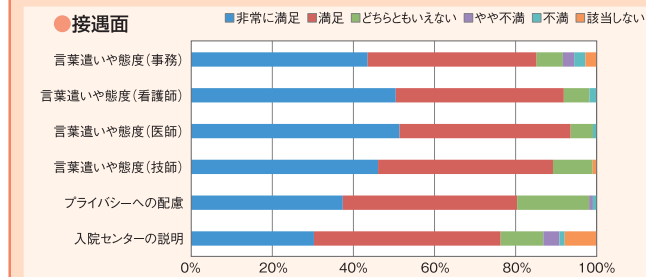
外来患者 **84点** (前回86点)

前回と比較して、入院患者さんの評価は1ポイント高くなり、外来患者さんは2ポイント低くなりました。どちらにおいても、より良いサービスを提供できるよう病院全体で取り組みます。

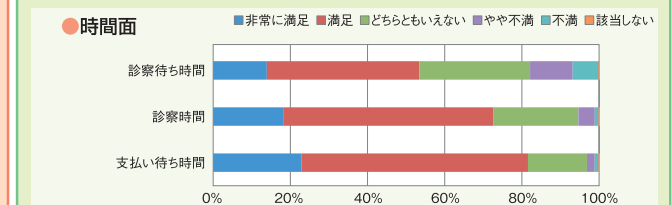
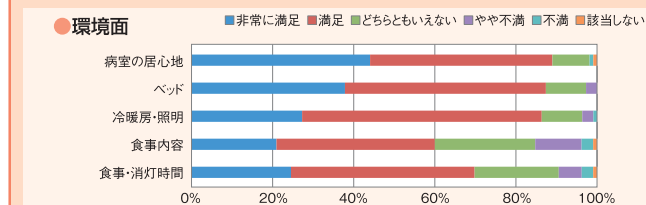
Q. 当院の満足度をお答えください。



施設面では、「建物」・「案内表示」など設備に関して高い評価をいただいています。一方、「レストラン・売店」の満足度が低いため、より良い商品とサービスを提供できるよう努めます。



接遇面では、職員の言葉遣いは概ね満足度が高い結果でしたが、「プライバシーへの配慮」と「入院センターの説明」がやや低い評価となりました。より丁寧に応対できるよう努めます。また、電話対応マニュアルを職員に配付し、接遇向上を進めています。



入院環境面では、「食事内容」に関して、いくつかのご意見をいただきました。11月下旬からお刺身を提供するなどメニューの充実に取り組んでいます。

時間面では、「診察待ち時間」の満足度が低くなっています。当院の外来は予約制ですが、診察時間のずれによりお待たせする場合もあり、ご迷惑をおかけしています。

3.まとめ 今回も多数の患者さんからお寄せいただいた評価、貴重なご意見や励ましを基に一層のサービス向上に取り組むとともに、病院全体で共有し、ご指摘のあった事項については一つでも多く改善に繋がるよう努めます。なお、日常お気づきのことは、職員または「ご意見箱」などを通じてご意見をくださいますようお願いいたします。